

断じて支配階級の 思いどおりには進まない

労働戦線は「労戦統一」をめぐる激しい流動と激突に入っている。「統一」という耳ざわりのいいタテ前のもと、実は戦後労働運動を担ってきた総評の解散・解体を通し一層の労働監獄と侵略戦争へ動員できる国家体制づくりを狙っているのであり、断じて許せるものではない。現場労働者は、労働運動の「死」を意味する右翼労戦「統一」を「時の流れ」となすすべもなく受け入れるのか！断じて否である。むしろ、支配階級と敵の軍門にくだった裏切り者（革マルや労働貴族）によってしかけられている攻撃は、良心的、戦闘的労働者の危機感と怒りの火に油を注ぐ行為に等しいのだ。

逆流を突きぬけ次々に 「連合」反対の「決議」

「労働者としての良心だけは売らない」という者から、総評運動の継承と発展を決意し、闘う者の団結と連帯を求め一線で活動する者等と「連合」に反対する者は広く厚い。試験と困難に負けずに次々と「連合」拒否の決議、声が発せられている。

- ◎国労は全国大会で「連合」反対を決議。
- ◎都労連（二〇万）は六月二十九日、定期大会で「連合」不参加を決定。
- ◎都高教、沖繩高教組をはじめ、日の丸労働運動の登場にすさまじい危機感を高めている。

われわれは、政府、当局、革マルによる動労千葉、総連合、国労破壊の総攻撃に勝ちぬいてきた。真紅の旗を守り、団結を固め反転攻勢に転じ前進している。

問題の核心は、仲間を信じ、まず自らが闘いの道に確信を深めることである。

職場活動を持続させ、労働者の戦闘的エネルギーと団結を堅持する限り、労働組合総体の右翼的ファシスト御用組合化は絶対に完成しない。荒波に洗われてこそ、激動の時代を生きぬき前進できる力も創造できる。確信も固く、原則的労働運動をおしすすめよう。

右翼労線「統一」反対！ 鉄道労連解体！ 開始した労働戦線の大流動化

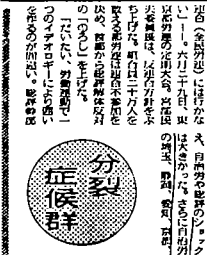
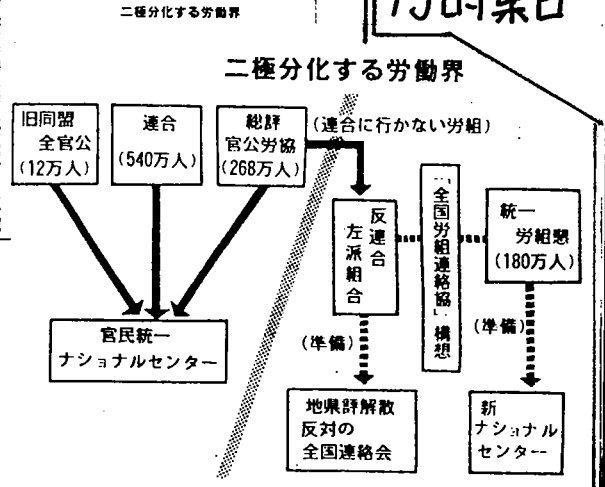
今、燃えあがってきている反核・反原発、大規模間接税反対、三里塚を先頭とする住民運動、そして反安保・基地撤去を求めるさまざまなたたかいとしっかり結びあつて、歴史の大反動！労働運動の破壊、産業報国会運動を打破するために全力を尽くそうではないか。

8/1 葉取 15時集合
組合脱退強要
事件地労委闘争

総評解散
40年目の幕引き

中

加速する路線対立



二極化する労働界

労働界は激しい流動と激突に入っている。右翼労戦「統一」を「時の流れ」となすすべもなく受け入れるのか！断じて否である。むしろ、支配階級と敵の軍門にくだった裏切り者（革マルや労働貴族）によってしかけられている攻撃は、良心的、戦闘的労働者の危機感と怒りの火に油を注ぐ行為に等しいのだ。

われわれは、政府、当局、革マルによる動労千葉、総連合、国労破壊の総攻撃に勝ちぬいてきた。真紅の旗を守り、団結を固め反転攻勢に転じ前進している。

問題の核心は、仲間を信じ、まず自らが闘いの道に確信を深めることである。

職場活動を持続させ、労働者の戦闘的エネルギーと団結を堅持する限り、労働組合総体の右翼的ファシスト御用組合化は絶対に完成しない。荒波に洗われてこそ、激動の時代を生きぬき前進できる力も創造できる。確信も固く、原則的労働運動をおしすすめよう。